



「対話の力」は育っているか？



— 小学校以降の学びを見通した新しい保育に求めるもの —

島根大学大学院教育学研究科 教授 肥後 功一

幼児教育重視の方向性を打ち出した新指針等が始まります。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に注目が集まりがちですが、何より大切なことは、乳幼児期の遊びや生活の中で育まれるものが小学校以降の学びの土台であり、保育（家庭での養育も含めて）の質が重要であるとの共通認識が示されたということでしょう。

保育の時代に育みたい学びの土台として、私は「対話の力」を大切に考えています。その根拠は小学校以降の新しい学習指導要領にあります。新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が提唱されています。中でも特に重要なのは「対話的な学び」です。対話的な学びとは「子供同士の協働、教師や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める」学びであると説明されています。自分の考えを他者や書物や自分自身との対話を通じて深めていくことは、一生続く大切な学びの中核です。その土台となるのが乳幼児期に育つ「対話の力」なのです。

子どもは生まれたての乳児の時代から家族のやさしい「語りかけ」に包まれて育ちます。わずかな表情の変化や小さな手足の意図せぬ動きに対して、私たちは「ほら笑ったよ」「まあびっくりしたね」「ご機嫌さんねえ」…と子どもの気持ちを代弁するかのよう^{かごと}にことばを添えていきます。子どもの対話の力は、自分の動きをことばで象るよう^{かごと}に話しかけるおとなからの働きかけを通じて芽生え、ほんの数

の間で一気に開花します。私たちおとなは「ことばを理解でき対話する力が子どもに芽生えてきたから」話しかけるのではなく、極端に言えば、そんなことにはお構いなしに、子どもを対話的な存在と見なして話しかけるのです。

そんな乳幼児期の対話的環境の中心となるのが家庭の団らんです。私は団らんを「誰が話し手で誰が聴き手か？が、どうでもよくなるコミュニケーションのこと」と定義しています。夕ごはんの時、春休みはどこに行こうかを「家族みんなで」話しました—そういう経験のことです。子どもは家庭での団らんを通じて、人のことばとつながり互いにエネルギーを補給し合う不思議で楽しい対話の本質を学んでいきます。それだけではなく、自分の感情が抑えられずに泣くほかないようなとき、信頼できるおとながことばのベルトをかけて「対話的に」心を鎮めてくれる経験から、子どもは「自分の感情を自分のことばで制御できる」ように育っていきます。

スマホの動画を見せておけば、ぐずる子どもが手っ取り早くおとなしくなる…そんな現代の育児を耳にすると心が痛みます。そこからは人との対話の力も、自分との対話の力も、自分の感情を制御する力も育ちません。忙しい日々の中で、つい子どもとのゆったりとした対話や団らんがおろそかにされてしまう…それは家庭だけのことでしょうか？保育は大丈夫ですか？子どもの対話の力は、実は危機にさらされているのかもしれないのです。

島根県保育協議会研修体系の見直し・平成30年度からの新たな研修体系

研修再編の考え方

● 全ての会員（保育従事者）が等しく参加できる機会を保障する。

・特定の階層に偏らず、新任から所長まで全ての保育従事者が階層ごとに、あるいは合同で学ぶ研修体系づくりをめざす。

● 経験年数や職務・職責に応じて、身につけるべき専門的知識や技術の向上に対応していく。

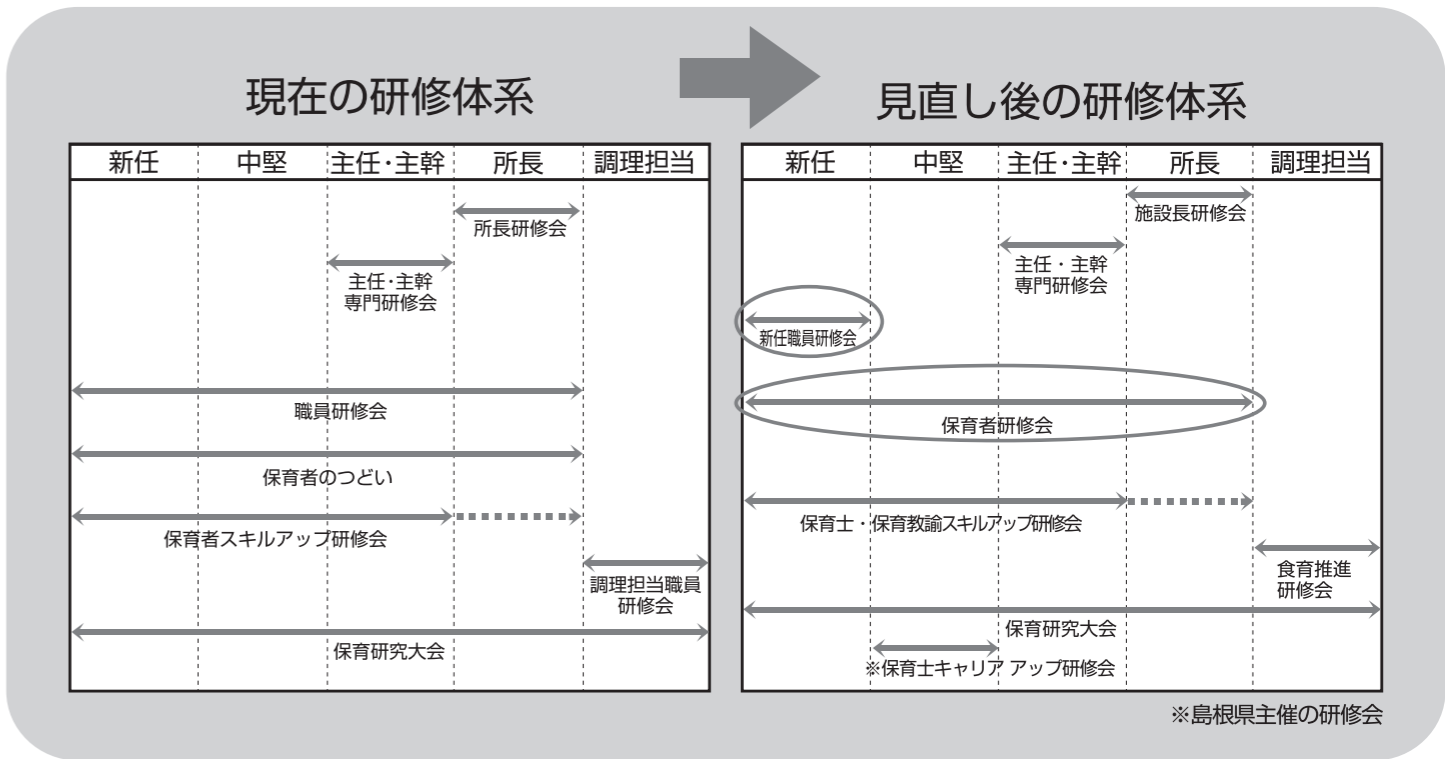
・現在の保育を取り巻く情勢や保育現場の課題を踏まえつつ、中・長期的視点に立ってそれぞれ経験年数や職務・職責に応じて求められる知識や技術の向上に資する研修体系づくりをめざす。

● 保育現場の実情に照らし、研修コース（量）は適正な範囲とする。

・研修参加が現場の過重な負担とならないよう、現行の研修体系をベースとして必要な研修は新たに興し、対象やテーマが重複する研修については統合化するなど、スクラップ&ビルドの視点にたった研修体系づくりをめざす。

● 県域というスケールメリットを十分に活かした組み立てとする。

・「県内の有効な事例や困難事例を積極的に活用する」「やりがい、喜び、悩み、困難などを相互に分ち合うなど交流的要素をとり入れる」「外部講師（有識者等）のみに頼らず会員自らがインストラクターとしての役割を担う」など、スケールメリットを活かしたプログラムづくりをめざす。



新たな研修体系

研修名	研修テーマ・内容	研修のねらい	期日	場所	講師	対象
施設長研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●保育をめぐる制度・施策等の動向理解 ●管理者としてのキャリアデザインと環境整備（キャリアパスの構築、職員のモチベーションマネジメント、健康管理） ●組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成（コーチング技術・スーパービジョン） ●人材育成環境（能力開発と人材育成）の整備と推進 ●業務課題の解決と実践研究（法人・事業所レベルでの業務改善、組織の問題解決） ●リスクマネジメント（保育所経営とリスクマネジメント） ●保育におけるソーシャルワーク技術と他職種連携・地域協働 ●法人・施設経営管理（採用・人事労務管理・経営計画策定） ●地域における子育て支援の展開 	○組織マネジメントやリスク管理など法人・施設の経営管理に必要なスキルの向上をめざすとともに、保育の専門性や保育所機能を活かした地域における子育て支援の重要性と展開方策について理解を深める。	7月3日（火）	ビッグハート出雲（出雲市）	島根大学大学院教授 肥後功一氏	所（園）長及びそれに準ずる者
主任保育士・主幹保育教諭専門研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●保育をめぐる制度・施策等の動向理解 ●チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理（自己能力の開発と評価・成長目標設定） ●チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成（コーチング技術・スーパービジョン） ●職場研修（OJT）、研修計画の体系化 	○組織全体の保育実践の質を高めていくための組織内の人材育成や業務マネジメント力の向上をめざす。	6月22日（金）	パルメイト出雲（出雲市）	子どもとことば研究会代表 今井和子氏	主任保育士主幹保育教諭及びそれに準ずる者
新任職員研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●新任職員としてのキャリアデザインと自己管理（自己能力の開発と評価・成長目標設定） ●組織の一員としてのフォローアップの醸成 ●専門職としての価値・役割理解 ・保育をめぐる今日的課題と対応 ・子どもの最善の利益の尊重と一人ひとりの子どもの発達保障 ・専門職としての責務 ・チームワークと自己評価 ・保育現場におけるPDCA 	○専門職としての基礎理解（保育者の人間観・子ども観、人間性・道徳性を高める。）とともに、入職後の悩みや困難さなど課題の共有と解決手段を導き出す。	7月9日（月） 7月12日（木）	益田市 松江市	あすなる第2保育園 園長 竹内寛和氏 めばえ保育園 園長 田中文仁氏	新任 ※概ね3年未満
保育者研修会*	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所に求められる役割の広がりや社会的責任 ●乳幼児期の発達特性や発達過程の理解と保育 ●保育のねらい・内容（養護と教育）と小学校教育への円滑な接続 ●保育計画作成の視点と評価のあり方 	○保育をめぐる今日的動向を踏まえつつ、これからの保育実践に必要な（保育士に共通する）専門的知識・技術への理解を深める。	9月29日（土）	江津市総合市民センター（江津市）	東京家政大学 ナースリールーム主任 井桁容子氏	全階層
保育士・保育教諭スキルアップ研修会*	<ul style="list-style-type: none"> ●健康 ●人間関係 ●環境 ●言葉 ●表現 	○子どもの発達段階を踏まえながら保育5領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）に配慮した目標設定と保育実践の展開手法について理解を深める。	9月15日（土）	あすてらす（大田市）	やまぼうし保育園 園長 吉本和子氏	全階層
食育推進研修会（児童福祉施設調理担当者研修会）	<ul style="list-style-type: none"> ●調理室と保育室の連携（保育実践と一体となった食育の推進） ●食に関わる保育環境（子どもの育ちを保障する食事の提供体制と環境整備） ●食物アレルギーの理解と個別支援 ●保護者支援及び保護者との協働（家庭における食育の推進） 	○生きる力の基礎を育む食育の重要性理解とともに、食育を通じた子ども・保護者支援、さらには地域支援への展開について理解を深める。	8月4日（土）	朱鷺会館（出雲市）	・小島歯科医院名誉院長 ・石川県保険医協会副会長 小島 登氏	調理担当職員を中心に全階層から参加可能

※「保育者研修会」「保育士・保育教諭スキルアップ研修会」については、受講対象及び研修のねらいが重複するが、前者は“理論的学び（現場に活かす実践方法）”を中心に組み立てる。

平成30年度福祉従事者研修・保育関連研修一覧

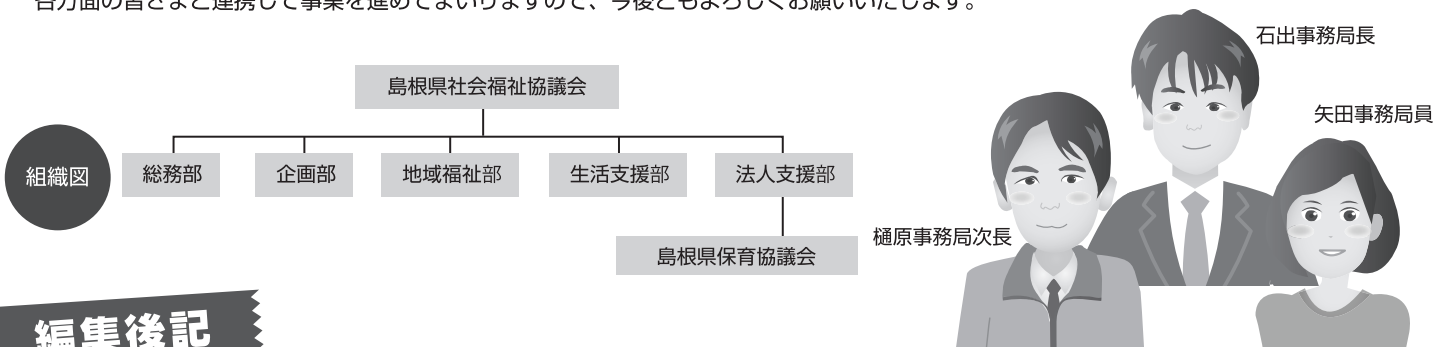
主催：島根県／島根県福祉人材センター

研修会名	★保育士処遇改善対応研修 ①保育士キャリアアップ 【乳児保育】	★保育士処遇改善対応研修 ②保育士キャリアアップ 【幼児教育】	★保育士処遇改善対応研修 ③保育士キャリアアップ 【障がい児保育】
内容	①乳児保育の意義 ④乳児の発達に応じた保育内容 ②乳児保育の環境 ⑤乳児保育の指導計画、記録 ③乳児への適切な関わり 及び評価	①幼児教育の意義 ④幼児教育の指導計画、 記録及び評価 ②幼児教育の環境 ⑤小学校との接続 ③幼児の発達に応じた保育内容	①障害の理解 ④家庭及び関係機関との連携 ②障害児保育の環境 ⑤障害児保育の指導計画、記録 ③障害児の発達の援助 及び評価
場所・ 期日	〔松江〕平成30年8月28日(火)～30日(木) 松江合同庁舎 〔浜田〕平成30年10月22日(月)～24日(水) 浜田合同庁舎 〔出雲〕平成30年12月17日(月)～19日(水) 朱鷺会館	〔松江〕平成31年2～3月(予定) いきいきプラザ島根(松江合同庁舎) 〔浜田〕平成31年2～3月(予定) いわみーる(浜田合同庁舎)	〔松江〕平成30年9月18日(火)～20日(木) いきいきプラザ島根 〔浜田〕平成30年8月6日(月)～8日(水) いわみーる
研修会名	★保育士処遇改善対応研修 ④保育士キャリアアップ 【食育・アレルギー】	★保育士処遇改善対応研修 ⑤保育士キャリアアップ 【保健衛生・安全対策】	★保育士処遇改善対応研修 ⑥保育士キャリアアップ 【保護者支援・子育て支援】
内容	①栄養に関する基礎知識 ④保育所における食事の提供 ②食育計画の作成と活用 ガイドライン ③アレルギー疾患の理解 ⑤保育所におけるアレルギー 対応ガイドライン	①保健計画の作成と活用 ②事故防止及び健康管理 ③保育所における感染症対策ガイドライン ④保育の場における血液を介した感染防止 ⑤保育の場における事故防止及び対応	①保護者支援・子育て支援の意義 ②保護者に対する相談援助 ③地域における子育て支援 ④虐待予防 ⑤関係機関との連携、地域資源の活用
場所・ 期日	〔松江〕平成30年12月～平成31年1月(予定) いきいきプラザ島根(松江合同庁舎) 〔浜田〕平成30年12月～平成31年1月(予定) いわみーる(浜田合同庁舎)	〔松江〕平成31年2～3月(予定) いきいきプラザ島根(松江合同庁舎) 〔浜田〕平成31年2～3月(予定) いわみーる(浜田合同庁舎)	〔松江〕平成30年11～12月(予定) いきいきプラザ島根(松江合同庁舎) 〔隠岐〕平成30年11～12月(予定) 隠岐合同庁舎 〔浜田〕平成30年11～12月(予定) いわみーる(浜田合同庁舎)
研修会名	★保育士処遇改善対応研修 ⑦保育士キャリアアップ 【マネジメント】	保育士キャリアアップ 【新任保育士向け保育実践】	新任保育士研修 【組織力向上】
内容	①マネジメントの理解 ④人材育成 ②リーダーシップ ⑤働きやすい環境づくり ③組織目標の設定	①保育における環境構成 ④言葉・音楽を使った遊び ②子どもとの関わり方 ⑤物を使った遊び ③身体を使った遊び	①保育士のための聞く技術 ②保護者との良い関係づくり ③保育士のストレスマネジメント ④保育の基本理念と倫理
場所・ 期日	〔松江〕平成30年6月18日(月)～20日(水) 松江合同庁舎 〔浜田〕平成30年7月2日(月)～4日(水) 浜田合同庁舎 〔出雲〕平成30年6月25日(月)～27日(水) パルメイト出雲	〔松江または出雲〕平成30年8～9月(予定)	〔松江〕平成30年7月17日(月)～18日(水) いきいきプラザ島根 〔浜田〕平成30年7月19日(木)～20日(金) いわみーる

※場所・期日については、講師の都合等により変更になる場合がありますのでご承知おき願います。

“こんにちは”島根県保育協議会事務局です!

島根県保育協議会は、事務局長、事務局次長、事務局員の3名です。島根県社会福祉協議会法人支援部の中に事務局があります。会員の皆さまの資質向上を図ることを目的に研修会の開催、調査研究、広報誌の発行、他団体との連携等、役員の方々と共に活動しています。各方面の皆さまと連携して事業を進めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



編集後記

立春の頃、新芽が動き始める前にバラの剪定をしました。バラは優雅な花姿が魅力ですが、実は病気や虫の被害から葉がすべて落ちてしまっても、また新たに芽吹いてくる生命力のとても強い植物。堅い芽が動き出す季節の頃、『卒園』という一つの節目を迎えるこどもたちの新たな旅立ちに「おめでとう・これからも頑張って」と心からエールを送りたいと思います。新緑や咲き乱れる花々の彩りの中で、再会できることを願って。